

連文

R E N B U N



Vol. **121**
2026.8



「いけばな」 命を生かす

華道は、草木や花を器に生けて美を表現する日本の伝統文化です。単なる空間の装飾にとどまらず植物の命と向き合い、自然の美しさ、季節の移り変わりを「間（空間）」の美学とともに表現する求道的な精神性（芸道）を重視しています。

植物やその他様々な材料を組み合わせ構成し、文化鑑賞します。様々な流派があり様式・技法は各流派によって異なり現代では国際的に認知されています。

華道の歴史

仏教との結びつき

室町時代、京都の「六角堂」の僧侶が仏前に花を供えたこと（仏華・くげ）が起源とされています。僧侶は代々池のほとりに居住していたことから「池坊」と呼ばれていました。そうした呼び名が後世に流派の名前となりました。家元、宗家らによって江戸時代中期にかけて立花（「立華」とも書く）と呼ばれる型が大成されていきました。その後、江戸中期から後期になると、華道はそれまでの上流階級・武家階級のものから広く庶民のたしなみへと変化。生花を中心に広く愛されるようになりました。



池坊六角堂は室町時代いけばな華道発祥の地

発展

当初は床の間に飾る格式高いものでしたが、次第に庶民の教養や芸術として全国に広まりました。



床の間の仏華（池坊）

代表的な三大流派

日本には数百の流派が存在しますが、その中でも特に規模が大きく有名なものが三代流派です。

1 池坊 いけのぼう

550年以上の歴史を持つ、華道の根源とされています。伝統的な「立花（りっか）」から現代的なスタイルまで幅広く伝承されています。

2 小原流 おはらりゅう

明治時代に創始され、自然の風景を浅い水盤に表現する「盛花（もりばな）」を確立しました。

3 草月流 そうげつりゅう

大正時代に創始された、型にとらわれない自由で前衛的な表現を得意とする流派です。



《小原流》



久留米市・モデスト市姉妹都市締結30周年記念事業のお出迎え花。久留米市とモデスト市の姉妹都市締結30周年を記念した「生花（華道）」と「箏曲（邦楽）」の特別コラボレーションで制作したお出迎え花です。草月流の先生のご指導のもと、連文華道部の若手部員が合作で制作しました。

●華道部の会員は、

池坊久留米支部、古流松藤会、草月流万年青会、池坊三瀧支部、草月流洵花会、小原流久留米支部、草月流A・I・C・F、大和池坊、嵯峨御流（今年退会） 現在67名。

第45回会員華道展

令和8年10月

〔前期〕9日・10日
〔後期〕11日・12日
に石橋文化センター小ホールで華道展を行います。ご多忙の折とは存じますが、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



参考資料：池坊書簡「池坊専好花の世界」 日本華道社発行
池坊本部
小原流副読本「復刊いけばなの道」
一般財団法人小原流事業部発行

（華道部・生津 春花）

定期総会を終えて

令和8年5月30日(土)ホテルマリタール
創世において、令和8年度久留米連合文化
会定期総会を開催いたしました。

総会では、

第1号議案 令和7年度久留米連合文化会
事業報告並びに決算承認・監査報告

第2号議案 令和8年度久留米連合文化会
事業計画及び予算

第3号議案 創立80周年記念事業について
第4号議案 規約改正

について審議を行い、いずれも原案どおり
承認されました。第3号議案では、創立80
周年記念事業の実施についてお諮りした
ところ、実施する方向で承認をいただきま
した。

【創立80周年記念事業】

久留米連合文化会は昭和24年(1949年)
に創立され、令和12年(2030年)に創立
80周年という大きな節目を迎えます。また、
令和11年(2029年)には県文連ふくおか
県芸術文化祭の担当が予定されているこ
とから、この時期に合わせて80周年記念事
業を開催する方向で準備を進めてまいり
ます。

記念事業に向けては、今後数年間にわた
り計画的に積立を行う予定ですが、会員数
や財政状況を踏まえながら、無理のない範

囲で内容や規模を検討してまいります。

今後は、実行委員会を中心に準備を進め、
会員の皆様とともに創立80周年を迎える
喜びを分かち合えれば幸いです。

議案審議終了後には、久留米連合文化会
表彰、新会員紹介を行い、滞りなく総会を
終了いたしました。



【表彰を受けた会員、新会員をご紹介】

●功労賞

古賀利恵(水墨画)・川島幹夫(写真)

●久留米文学賞「文芸部門」(令和7年度)

浮池明子(俳句) ・ 名島ミヤ子(短歌)
平川悦子(川柳)

●連文会員賞「美術部門」(令和7年度)

高木和子(日本画) ・ 平井舟風(水墨画)
江口登(洋画) ・ 豊福きみ枝(洋画)
馬場節子(洋画) ・ 小森博之(彫刻)
高木重太(工芸) ・ 河村美津子(書道)
原秋香(書道) ・ 高良慶治(写真)
森山峰照(写真) ・ 古崎勇(デザイン)
連文会員賞

●「舞台芸術・華道・茶道部門」(令和7年度)

北川陽泉(茶道)

●永年50年表彰

小川寿一(日本画)

●永年30年表彰

栗林喜美子(短歌)・浦孝子(華道)
石井宗江(茶道) ・ 小屋松宗賀(茶道)

●新会員

●令和7年度

「文芸部門」山本友美(小説)／田中泰
離(川柳)「美術部門」坂本愛艶(水墨
画)／岩橋則好・有働功一・星野マユミ・
森本博子(洋画)／池末真弓・實藤淳子・
執行華影・田中和子・辻桂苑・西岡雪
影・持山雅泉(書道)／上野睦士・中野
政重・馬場康・松竹則之(写真)「舞台
芸術部門」清元延志寿和(邦楽)／横山
奈津記(洋楽)／前原寿代(映画演劇)／
松林亜耶(洋舞)「華道部門」深見智
子(華道)「茶道部門」白水宗恵(茶道)

●令和8年度

「美術部門」酒井貴輝(日本画)／宮崎な
み江(洋画)／瀧口智之・千種美朗(写真)
「舞台芸術部門」伊藤倉吉(謡曲)「茶道部
門」秋山仙悦・青木宗久(茶道)



▶新入会員紹介



▶表彰
その後の懇親会では、令和7年度の久留
米市功労者として表彰された短歌部深野
亨輔氏、映画演劇部齋藤豊治氏の祝賀会
が行われました。

来賓として、久留米市副市長橋本政孝
様、久留米市議会議長石井秀夫様、本年度
着任された久留米市市民文化部長文化芸術
担当部長深堀尚子様、久留米文化推進協
議会会長橋本安彦様をはじめ多くの来賓
の方々にご出席いただき、会員同士も終始
和やかな雰囲気の中で、親睦を深める有意
義な機会となりました。

(事務局・竹下さおり)



青木繁を偲んで

第73回けしけし祭

令和8年3月20日(金・春分の日の祝日)に兜山(けしけし山)にて「けしけし祭」が開催されました。

数日前には雨で心配されていましたが、前日・当日と春の心地よい日和となり、例年の雨天時のテントも取り払われ遮るもののない中、眼下に筑後平野を眺めての碑前祭となりました。

時折、突風吹き荒れるときもありましたがこれも天からの聲のようで、有り難い風でした。



献酒：来賓・青木繁親族

開祭の言葉の後、

献酒、祭文、山本小学校3年生による「母います国」合唱、献花、献茶、献書、献句、献歌、主催者・地元代表の挨拶、最後に親族代表の高山喜一郎様のご挨拶まで高良の風を肌で感じて終え、ました。

昼食時は、お天道

さまのキラキラと眩しい光の中、春のひと時を過ごし良き碑前祭の一日でした。



主催者挨拶：内野博夫(連文会長)



献歌：山本小学校3年生

1、開祭の言葉 司会

才田亜希子(久留米連合文化会代表理事)

2、献酒

原口新五(久留米市長)

石井秀夫(久留米市議会議長)

井上謙介(久留米市教育長)

高山喜一郎(御親族)

石橋鉄也(御親族)

内野博夫(久留米連合文化会会長)

入江剛史(西日本新聞社久留米総局長)

山本修司(久留米観光コンベンション 国際交流協会常務理事)

宮原義治(久留米文化振興会常務理事)

深山和義(山本校区振興会会長)

橋本安彦(久留米文化推進協議会会長)

荒木康博(青木繁旧居保存会会長)

久我敏博(久留米連合文化会美術部副代表)

3、祭文 原口新五(久留米市長)

4、献歌 山本小学校3年生児童による

青木繁研究の発表「母います国」合唱

5、献花 大石理真(久留米連合文化会華道部)

6、献茶 北川陽泉(久留米連合文化会茶道部)

7、献書 橋村禮泉(久留米連合文化会書道部)



昼食でかつぱ酒を楽しむ参加者

8、献句 吉田いずみ(久留米連合文化会俳句部)

田中泰離(久留米連合文化会川柳部)

9、献歌 栗林喜美子(久留米連合文化会短歌部)

10、主催者挨拶

内野博夫(久留米連合文化会会長)

11、地元代表挨拶

深山和義(山本校区振興会会長)

12、親族代表挨拶

高山喜一郎

13、閉祭の言葉



献歌：栗林喜美子(短歌部)

献句：田中泰離(川柳部)

献句：吉田いずみ(俳句部)

献書：橋村禮泉(書道部)

献茶：北川陽泉(茶道部)

献花：大石理真(華道部)

(広報委員会・北川陽泉)

『久留米文学』新編第七十三号発刊にあたり

文芸部の活動として、七十三年目を迎えた『久留米文学』という刊行物があります。冊子ですので、編集・印刷に費用がかかります。存続の危機を迎えていました。そこで、続ける為の方法を考え、印刷製本だけを発注するというやり方で費用を抑えようという事になり、ようやく発行したのが、新編七十三号でした。

これまでを変えるということは簡単な事ではありませんでしたが、文芸部門副会長の「やってみよう」という気持ちと、事務局の竹下さん・古賀さんのご協力で何とか新しい方法を見出し、七十四号の募集が出来るようになりました。あらためて、関わられた皆様に感謝いたします。



文芸部門に限らず他の部門の方々また連文会員以外の方々などでも応募出来ますので、皆様の投稿、お声をよろしくお願いいたします。

久留米文学第七十四号「募集要項」

一、記入事項／（部門・題・住所・氏名・年齢・電話番号）を明記の上、メールか郵送でご応募下さい。

●詩 三篇以内

四〇〇字詰原稿用紙 一篇三枚以内

●短歌 五首一組（題をつけて）

●俳句 三句一組（題不要）

●川柳 三句一組（題不要、

会員は五句（題をつけて）

●小説・エッセイ等

●手書きの場合

四〇〇字詰原稿用紙縦書き

（読みやすいよう楷書体で書くこと）

●パソコンの場合

縦書き 20字×20行

※手書き・パソコン共に

四〇〇字詰原稿用紙六〇枚以下

※未発表の作品に限る

※応募原稿は返却しない

二、締切り／令和八年十一月三十日

三、投稿料／一作品につき一〇〇〇円

（郵便小為替）を作品に同封

四、送り先／久留米連合文化会事務局

（俳句部・吉田 いずみ）

第73回 連文茶道部大茶会

令和8年4月19日（日）、久留米シティプラザ4階和室・中会議室、5階大会議室において、久留米連合文化会茶道部の五流派による合同茶会が開催されました。

あいにく朝は雨交じりの空模様でしたが、約450名とたくさんのお客様にお越しいただき、大況のお茶会となりました。

和室「長盛」では、床の間の紫菀蒲が緑の葉に映え、清々しい空間の中、正座できない方には椅子席も用意され、ゆったりとお



茶とお菓子を召し上がっていただきました。

その他のお席でも、趣向を凝らしたおもてなしに、お客様は「とても良い時間を過ごさせていただきました。」との言葉。

帰る頃には雨も上がり、お客様は、満足したお顔で帰途に着かれておられました。

（茶道部・角谷仙列）

坂本繁二郎生家で

お茶を楽しむ会

（江戸千家久留米不白会）

毎年、坂本繁二郎の誕生日の3月に「お茶を楽しむ会」を開催しております。今年は3月15日（日）、開催致しました。

風が強く、少し肌寒い一日でしたが、ご家族連れや、海外から観光にお見えになった6名のお客様など、短い時間でしたが100名を超えるお客様にご参加いただき、お抹茶とお菓子を楽しんでいただきました。



（茶道部・西依宗直）

第52回 連文書道部書作家展

令和8年5月20日(水)から5月24日(日)まで、久留米市美術館1階ギャラリーで書道部57名による書作家展を開催しました。

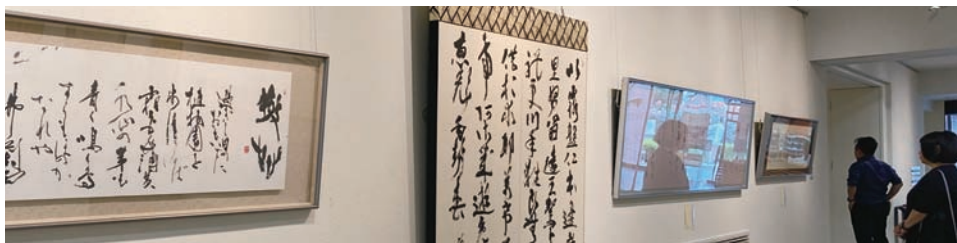
今年は「親しみやすい書をテーマに漢字、かな、調和体、篆刻でそれぞれ趣向を凝らした116点を展示いたしました。漢詩、良寛の歌、源氏物語、百人一首と様々な作品が並びました。

会期中は天気に恵まれ、1509名もの多くの方々に鑑賞いただき、盛会のうちに終えることができました。足を運んでいただいた皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

今後、書道文化がますます発展していくよう若者にも関心をもってもらえるように会員一同努力、研鑽していきたいと考えています。

(書道部)

・村松知子



第12回 連文水墨画部展

令和8年6月2日(火)から7日(日)まで、久留米市一番街多目的ギャラリーにおいて開催しました。

部員12名の独自の思いで表現した作品32点を展示しました。

2年に一度の展覧会となりますが、毎回楽しみに来られる方、熱心に鑑賞されて質問される方等、いろいろな方に鑑賞していただき、励みとなりました。

また、水墨画に興味を持ち、始められた方もおり、展覧会を開催する必要性を感じています。

(水墨画部・城戸妙子)



第19回 連文工芸部作品展

第19回久留米連合文化会工芸部会員作品展を6月16日(火)から21日(日)まで、久留米市一番街多目的ギャラリーにて開催しました。



催事中の来館者の数は総計254名でした。染色、ガラス、陶芸の多種多様な作品24点を展示できた事、この場をお借りして改めて会員の方々に厚く御礼申し上げます。来年は会員展20回目の節目を迎えます。来年も良い作品を展示できるよう会員全員で取り組んでいきます。

(工芸部・廣藤圭)

第60回 仲縄忌俳句大会

6月27日(土)に寺町の遍照院にて仲縄忌が営まれました。前日までの荒れ模様の天気も回復して、俳句部の参加者は、庭を散策し、作句し、墓前祭に参列しました。

その後、南薫コミュニケーションセンターにて俳句会を開催しました。

句会の結果は次の通りでした。
特選一句(◎)、佳作二句

大力 妙子 選

◎ 旅の果て夏蝶落ちる仲縄忌

橘 無明

黒南風に揺るる墓前の日章旗

吉田 いずみ

今年また胸に翳せし彦九郎忌

平岡 清志

宮崎 みゆき 選

◎ 献吟の震はす緑仲縄忌

大力 妙子

一年の大きな節目仲縄忌

野口 桂子

献吟の声の涼しき仲縄忌

吉田 いずみ

吉田 いずみ 選

◎ 喪心に訪へば今年も振り花

大日方 明美

風鈴が交互に鳴りて仲縄忌

弓削 美和子

夏帯の袱紗きりりと献茶の儀

大坪 久美枝

(俳句部・大力 妙子)

第24回 ジュニア青木繁展

令和8年1月26日(月)～2月1日(日)
までえるピア久留米2階市民ギャラリーに於いて開催いたしました。

洋画部・デザイン部・書道部会員で審査を行い、絵画は、応募数2335点、入選204点、入賞96点、書道は応募数1172点、入選373点、入賞97点でした。

絵画は、小学生・高校生の応募数がかなり増え、小学生の作品のレベルの高さに、審査員の先生方も驚き、選考に苦慮されておられました。

書道は、残念ながら応募数がやや減



少ししましたが、学校単位での応募は増えております。塾の生徒ほどのレベルには及ばないものの、学校からの応募数が増えたことは、大変喜ばしいことであり、今後のさらなる広がりに向けております。

最終日の2月1日(日)の表彰式では、ジュニア青木繁展大賞をはじめ、特別賞・優秀賞・奨励賞・佳作の受賞者やご家族の参加で会場がいっぱいとなり賑わいました。



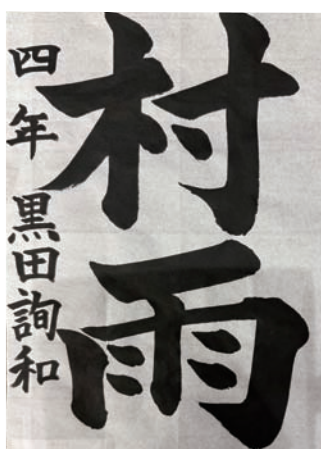
大賞 書道の部

矢留小学校4年 黒田詢和さん

じゅんな

スケールの大きい堂々とした作品。線に力強さがあり、尚且つなめらかであり、凛としています。

名前もりっぱで、見事な作品です。今後期待いたします。
(書道部・豊福桂舟)



大賞 絵画の部

中牟田小学校6年 川崎 ちよさん

組体操をしている様子を独特な視点から描いてあります。一人一人の表情や体の動きなどをよく観察しており、場面の緊迫感が伝わってくる素晴らしい作品です。(洋画部・宇美拓哉)



連文デザイン部展

令和8年7月14日(火)から20日(月)までの7日間、久留米市一番街多目的ギャラリーにおいて開催いたしました。

部展では毎回、共通のテーマを設け、「誰に・何を・どのような価値で伝えるのか」を意識し、作品のコンセプトを明確にしながら制作に取り組んでいます。また、展示全体を通して一貫したメッセージを感じていただき、新たな「気づき」が生まれる展示を目指しています。

今回のテーマは「ア・ツ・イ」。

それぞれが自由に解釈した個性豊かな作品が並び、会期中は454名の皆様にご来場いただきました。ご高覧いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

(デザイン部・吉本暢子)



◎日誌◎報告 2026年(令和8年) 1月～7月 **report**

第53回久留米謡曲連盟謡曲大会

1/25(日)・久留米シティプラザ 久留米座

第24回ジュニア青木繁展(展示)

1/26(月)～2/1(日)・えーるピア久留米 2F

第73号久留米文学発刊(新編)

3/1(日)

池坊三瀧支部創立85周年記念花展

3/6(金)～3/9(月)・久留米シティプラザ 展示室

坂本繁二郎生家「お茶を楽しむ会」(江戸家久留米自恋)

3/15(日)・坂本繁二郎生家

第73回けしけし祭

3/20(金・祝)・かぶと山

華道家元池坊久留米支部花展

3/28(土)～3/29(日)・久留米シティプラザ 展示室

第44回水墨画心象会展

3/31(火)～4/5(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー

第72回茶道部大茶会

4/19(日)・久留米シティプラザ 和室・大会議室

久留米児童合唱団第54回定期演奏会

5/4(月・祝)・石橋文化ホール

僕と音楽II(富松正治 Folk music history)

5/17(日)・久留米シティプラザ 久留米座

第52回書道部書作家展

5/20(水)～5/24(日)・久留米市美術館 1階

令和8年度久留米連合文化会総会

5/30(土)・ホテルマリターレ創世 久留米

第12回水墨画部展

6/2(火)～6/7(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー

第19回工芸部作品展

6/16(火)～6/21(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー

第60回仲縄忌俳句大会

6/27(土)・南薫校区コミュニティセンター

仲縄忌供茶呈茶(裏千家淡交会久留米支部)

6/27(土)・遍照院

デザイン部展「ア・ツ・イ！」

7/14(火)～7/20(月・祝)・久留米市一番街多目的ギャラリー

計報(令和8年1月～7月)

謹んでご冥福をお祈り致します。

元田 典利さん (彫刻部) 令和8年3月
龍頭 喜舟さん (書道部) 令和8年5月
船嶋 思甫さん (華道部) 令和8年6月

◎芸術散策◎行事のお知らせ 2026年(令和8年) 8月～12月 **information**

杉並児童合唱団久留米公演

8/9(日)・石橋文化ホール

フジタバレエ研究所第24回研究生発表会

8/21(金)・石橋文化ホール

青木繁旧居「お茶を楽しむ会」(江戸千家)

10/4(日)・青木繁旧居

第45回会員華道展

10/9(金)～10/12(月・祝)・石橋文化会館 小ホール

ムジカ・ソナレ・ナンサンブル第28回演奏会

10/11(日)・えーるピア久留米 視聴覚ホール

第75回久留米市総合美術展

10/14(水)～11/1(日)・久留米市美術館 1階

第55回会員美術展

10/14(水)～11/1(日)・久留米市美術館 1階

上下水道フェア茶会

10/17(土)・久留米市南部浄化センター

0歳からの親子ふれあいコンサート

10月予定・石橋文化会館 小ホール

第78回久留米市茶道連合会法要大茶会

11/8(日)・梅林寺

第72回桃青忌俳句大会

11月予定・御井校区コミュニティセンター

詩の集い

11月予定・久留米大学

第14回ドクターブンブンアートであそぼう！

11/29(日)・久留米シティプラザ

第25回ジュニア青木繁展(公募・搬入)

12/14(月)～12/18(金)・久留米連合文化会事務局

久留米光画会120周年創設記念写真展

12/23(水)～12/27(日)・久留米市美術館 1階

原稿募集

次号1222号の原稿募集しています。10月原稿締め切り。1月発行予定です。会報に掲載したい活動の報告と予定を部でまとめ、部長が事務へお知らせください。広報委員会で話し合い、部門と部の活動を優先し次に流派や個人の活動を掲載します。

